

令和3年度 埼玉県学力・学習状況調査の結果(幡羅中学校)

平均正答率

(単位 %)

| 教科 | 国語 | | | 数学 | | | 英語 | |
|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|
| | 中1 | 中2 | 中3 | 中1 | 中2 | 中3 | 中2 | 中3 |
| 幡羅中 | 63.1 | 62.8 | 67.5 | 61.5 | 62.8 | 57.8 | 65.3 | 60.8 |
| 埼玉県 | 61.3 | 63.1 | 68.1 | 59.4 | 59.1 | 58.1 | 62.6 | 60.0 |

質問紙調査より

※質問事項は質問紙調査より抜粋したもの

※「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」を合わせた値

(単位 %)

| | | 中1 | | 中2 | | 中3 | |
|---------|---------------------------------|------|------|------|------|------|------|
| 質問事項 | | 幡羅中 | 埼玉県 | 幡羅中 | 埼玉県 | 幡羅中 | 埼玉県 |
| 生活習慣 | ・脱いだ履き物のかかとをそろえる | 95.4 | 89.9 | 98.8 | 91.0 | 98.9 | 92.5 |
| | ・だれに対しても進んで挨拶をすることができる | 90.4 | 82.8 | 94.9 | 82.6 | 94.4 | 84.2 |
| | ・相手の気持ちやその場の状況を考え、やさしい言葉づかいができる | 93.2 | 87.3 | 92.0 | 87.4 | 95.0 | 90.3 |
| 学習習慣 | ・学校の宿題をしている | 99.4 | 96.7 | 97.7 | 93.0 | 93.9 | 92.5 |
| | ・学校の授業の予習や復習をしている | 91.5 | 80.7 | 82.7 | 69.5 | 81.6 | 68.6 |
| | ・平日、学校の授業時間以外に1時間以上勉強している | 94.3 | 74.0 | 87.4 | 71.3 | 85.0 | 78.4 |
| 学習等への関心 | ・勉強することが楽しい、好き(勉強する理由として) | 60.2 | 50.7 | 42.5 | 37.7 | 48.3 | 35.4 |
| | ・勉強は将来の進学や就職に役に立つ(勉強する理由として) | 96.6 | 94.1 | 96.6 | 94.4 | 98.9 | 95.3 |
| | ・地域の歴史や自然に関心をもっている | 80.1 | 59.8 | 59.8 | 44.2 | 61.6 | 40.4 |
| その他 | ・自分には、よいところがある | 83.5 | 76.5 | 77.6 | 72.4 | 77.8 | 69.7 |
| | ・難しいことでも失敗をおそれないで挑戦している | 82.4 | 76.0 | 72.4 | 67.8 | 77.8 | 69.2 |
| | ・将来の夢や目標をもっている | 87.5 | 83.6 | 83.3 | 73.3 | 84.4 | 69.8 |

幡羅中の「よかった点 (○)」と「課題 (●)」

【国語】

- 全学年において、一般的に苦手とされる記述式の正答率が高い。
- 既習の知識を必要とする問題では、苦手意識がある。

【数学】

- 記述式の正答率が+9ポイントであった。また、基本的な計算技能が高い。(1年)
- 全体の平均正答率が+3.7ポイントに対し、数と式の単元は+4.8ポイントと基本的な計算技能の定着が見られた。また、記述式問題の正答率が+6.5ポイントであった。(2年)
- 図形の知識がかかわる問題では、正答率が県平均より低いものが複数ある。(1年)
- 度数分布表やグラフの読み取りでは、正答率が県平均よりも低く、課題がみられる。(2年)

【英語】

- 読むことが+3.4ポイント、また記述式の正答率が+3.5ポイントと高い。(2年)
- 「聞くこと」「読むこと」で、県の平均正答率を上回っている。特に、予定を聞き取り、内容を表す正しい日本語を選ぶ問題では、県平均を8.5ポイント上回っている。(3年)
- リスニングや読解等で、状況に応じて相手の質問に答えることが苦手である。(2年)
- 「書くこと」について課題があり、特に句動詞を用いた正しい英文の正しい語順を選ぶ問題では、県の正答率を大きく下回っている。(3年)

【質問紙】

- すべての項目で県の平均値よりも高い数値を示している。特に学習習慣の値が大幅に高く、予習復習など家庭学習への取り組みが身につけている。
- 「勉強することが楽しい」と感じる生徒の割合は、県と比較して高いが、全体的な割合で見ると低い数値が出ている。

課題への取組・改善策

【国語】

- ・学習した知識を、短文として活用するなどの学習機会を、授業内に取り入れる必要がある。

【数学】

- ・基礎基本の定着だけでなく、複数の知識を複合的に用いる課題を授業で取り上げていく。(1年)
- ・計算問題や短文形式の出題形式だけでなく、複数の資料から情報を読み解く問題に取り組んでいく。(2年)

【英語】

- ・ウォーミングアップの時間を利用し、簡単な英語での問答を行い、リスニング力とスピーキング力を育てていく。また、自分で英文を読みとる力を育てるために、教科書以外の英文を自分で読み、内容を把握するような時間を定期的に入れる。(2年)
- ・帯活動で文法事項をしっかりインプットさせ、アウトプットできるライティング活動を取り入れる。(3年)

【その他】

- ・各教科の学習が生活に役立つような身近な手立てから興味関心を引き出し、学習することの楽しさを見出していく。
- ・自己肯定感を高め、自分に自信が持てるような学級経営や学校行事・学年行事等の企画を検討する。